

(第六類 第一號)

(三五四)

第六十四回帝國議會
衆議院

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案外二件委員會會議錄(速記)第二十一回

會議

昭和八年三月十五日(水曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 金光 庸夫君

理事豐田 收君 理事永田善三郎君

理事中川 觀秀君

木暮武太夫君

壽原英太郎君

青田 勝晴君

田中喜代松君

小川郷太郎君

勝 正憲君

野中 徹也君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏省主税局長 中島 鐵平君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君

農林省農務局長 長瀬 貞一君

農林省山林局長 木島 駒藏君

農林省畜産局長 村上龍太郎君

樺太廳長官 今村 武志君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

○金光委員長 是ヨリ開會致シマス、關稅定率法中改正法律案竝ニ昭和七年法律第四號中改正法律案ヲ議題ニ供シマス、質問ハ前會ニ於テ打切ツタノデアリマスケレドモ、討論ニ入ルニ先立ッテ簡單ナ質問ハ之ヲ許ス先例モアリマスカラ、之ヲ許シマス、杉本君

○杉本委員 前會ニ於キマシテ質問打切りノ御宣告ガアリマシタガ、私ハ此木材關稅ト頗ル重要ナ關係ヲ有ッテ居ル事柄ニ付キマシテ、樺太長官ノ御臨席ヲ願ヒマシテ、簡單ニ質問ヲ致シマシテ御答辯ヲ願ッテ置クコトガ、非常ニ必要デアルト云フ見地カラ、樺太長官ニ簡單ナ質問ヲ致シタイノデアリマス、元來木材ノ輸入ニ對シマシテ、關稅ノ改正ヲ圖ルト云フコトハ、他ニモ事情

ガアリマセウガ、主トシテ内地木材ノ保護デアル、又從テ市價ノ維持デアル、業者ノ販賣ノ統制ヲ圖ルト云フヤウナ事柄ガ、伴ッテ必要デアル譯デスガ、之ニ付キマシテハ最モ重要ナ關係ヲ有ッテ居リマスルモノハ、樺太廳ノ一ノ財源トシテ取扱ッテ居ル所ノ樺太材デアリマスガ、昨年ノ臨時議會ニ於カレマシテモ、此コトニ言及致シマシテ、最後ニハ拓務大臣ノ言明ヲ得マシテ、終了致シタヤウナ次第デアリマシテ、樺太廳ハ昨年ノ島外移出ニ於テハ、八百萬石以上ヲ出デナイヤウニ致スト云フコトヲ聽イデ居リマシタガ、其實績ヲ見マス、九百萬石ハ優ニ島外移出ガ致サレテ居ル、是ハ如何ナル事情デアリマスガ、過去ツタコトニ對シマシテハ、私答辯ヲ強ヒテ求メヨウトハ致シマセスガ、今後ニ起ル島外移出ノ數量ニ付キマシテ、長官ノ御意思ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマスカラシテ、本年度ノ島外移出ノ總量ハ幾ラデアルカ、内「バルブ」材ハ幾ラカ、即チ製紙會社ノ取扱ッテ居ル所ノ、

先ニ山代金ヲ拂ッテ置イテ、又新シク斫伐ノ計畫ヲ立テルト云フ此數量ガ、幾ラ含マレタルカト云フヤウナコトニ對シマシテ、御伺致シタイト思ヒマス

○今村政府委員 御答申上ゲマス、昨年度ニ出シマス豫定ノ數量ハ、只今御話ノ通り八百萬石デアッタノデアリマス、其當時大體樺太内ニアリマス丸太ガ、約一千萬石ト云フ豫定ヲ致シテ居ッタノデアリマス、其後之ヲ統制シマシテ、約二百萬石ダケハ昭和八年度ニ出スコトニ致シマシテ、昭和七年度ハ八百萬石ト云フコトニ致シタノデアリマス、昨年九月ノ末頃カト考ヘテ居リマスガ、其當時調査ヲシテ見マスルト、一千萬石ハ事實ナカッタノデアリマシテ、約九百二三十萬石ト記憶シテ居リマスガ、其程度ノモノシカ「ストック」ハナカッタノデアリマス、從テ百二十萬石位ガ、昭和八年度ニ持越サレル數量ニナッテ居ッタノデアリマスガ、御話ノ通り樺太島外ニ出マシタ數量ハ、約九百萬石近クニナッテ居リマスルガ、是ハ統制地域

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
地租ノ免除ニ關スル法律案(安達謙藏君外一名提出)
開國稅則者處分法中改正法律案(安達謙藏君外一名提出)
關稅定率法中改正法律案(政府提出)
昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

外——其統制ニ入ッテ居ラスノガ多少アリマス、サウ云フヤウナモノガ出マシタ關係上、數量ハ多少殖エテ居リマスケレドモ、大體ニ於テ八百萬石見當ト云フコトデアッタト記憶シテ居リマス、其實數ハマダ能ク決ッテ居リマセヌケレドモ、大體サウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ昭和八年度ニドノ位出ルカト云フ御質問デアリマシタガ、昭和七年度ニ於テ賣拂ヒマシタ立木ハ約千二百萬石トナッテ居リマス、此一千二百萬石ノ中「バルブ」ノ資材トシテハ、島内、島外ヲ通ジテ三百四十萬石、ソレカラ樺太島内ノ需要トシテ拂下ヲ致シマスノガ五十三萬石、ソレカラ薪炭材トシテ拂下ゲマスルノガ約百萬石、残りノ五百六十九萬七千石、是ガ丸太トシテ島外ニ出ル數量、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、隨テ昭和八年度ニ島外ニ移出サレマスル見込ノ丸太ハ、只今ノ五百六十九萬石ヲ丸太ニ直シマススト二百五十三萬五千石ニナリマスガ、大學演習林、官行斫伐デ合計九百九十六萬石、ソレカラ只今申上ゲマシタ昨年カラノ繰越材ガ約百十二萬石、ソレカラ「バルブ」資材トシテ島外ニ出マス丸太ガ百二十五萬六千石、其他ノ用途變更デ出マスモノガ約二十六萬石、其外ニ從來金ヲ拂ッテ立木ニナッテ居ルモノ

ガゴザイマスルガ、其總數量ガ丸太ニ致シマシテ百二十萬石アリマスガ、其中ノ約半數位ハ今年出ルノデハナカラウカト考ヘテ居リマス、隨テソレハ七十萬石内外ダラウト思ヒマス、ソレヲ合計シマス約七百萬石、斯ウ云フコトニ相成ラウト思ヒマス、唯茲デ多少増加スルノデヤナカラウカト云フ縣念ヲ持ッテ居リマスノハ、從來年賣拂ノ年伐量ハ計畫ノ約五割内外ニ止マッテ居ッタノデアリマスケレドモ、木材ガ斯ウ云フ値段ヲシテ居リマスノデ、多少年期ノ伐採數量ガ殖エヤセヌカト云フコトヲ、實ハ縣念ヲ致シテ居リマス、デアリマスルガ、一言申上ゲテ見タイコトハ、今回ハ値段ノ方ハ御承知ノ通り市價カラ計算シマシテ、サウシテ樺太ニ於ケル山元ノ値段ヲ出シタノデアリマシテ、隨テ値段ノ方ヲサウ云フ風ニ合理的ニ致シマシタ關係上、伐採ニ付キマシテハ徹底的ニ取締リツ、アルノデアリマス、昨年末ニ調査シマシタ毎木モ約二百萬石ヲ出シテ居リマス、又歩留モ從來ハ七分、八分、甚シイモノニアッテ八十分ト云フモノモアリマシタガ、今年毎木調査ヲ致シマシタ結果、平均シテ四分七厘程ニナリマシタ、五分弱ニナッテ居リマス、サウ云フ關係デアリマスルカラ、先ヅ出ルニ致シマ

シテモ、數量ハ略確實ナモノガ押ヘテ行ケルノデヤナカラウカ、斯ウ考ヘテ居リマス、デ先ヅ數量ガ多イト云フコトニナリマスルト、産業組合トモ協議致シマシテ、適當ニ調節ヲ致シタイト思ッテ居リマス

○杉本委員 只今長官ノ御説明ニ依リマス、八年度ハ共同斫伐ノ中、島外移出ニナルモノガ七百萬石見當ト云フ御見込ダト、斯様ニ仰シヤラレテ居ル、其通りデアルトスレバ洵ニ結構ナコトデアリマスガ、從來樺太ノ斫伐ト云フモノハ立木ニ制限ガアルノニ拘ラズ、無限ノ濫伐ヲ致シタト云フ、其弊害ト云フモノハ、内地針葉樹林、即チ農村、山村ガ所有シテ居ル所ノ、年々二千八百萬石位ヲ平均賣拂ッテ居ルモノ、此價格ニ大影響ヲ來シテ、殆ド無價值同様にナッテシマッタト云フコトハ、不景氣モ伴ツカモ知レマセヌガ、先ヅ以テ樺太材ノ餘リニ内地ニ、島外移出ヲシテ濫賣シタ結果ガ大ナル基因ヲ致シテ居ルト云フコトハ、農林當局、樺太廳ニ於カレマシテモ、北海道ニ於テモ、左様ナ事實ガ明デアッタノデアリマスルガ、昨年木材關稅ノ改正ヲ諮ル時ニ、偶々此樺太材ノ濫伐ヲ防ガナケレバナラスト云フ委員會ニ於テ意見ガ出マシテ、昨年度ハ從來ヨリモ九百萬石ト致セバ、千

萬石以上出タモノガ、一割位ノ島外移出ガ減ッタト云フコトニナッタノデアリマス、ソレ木材ノ市價ハ幾ラカ蘇生致シテ來タ、此場合ニ於テ七百萬石以上絕對ニ出サナイト云フ制限ヲナサルト云フ御意思ニ對シテハ、其通り嚴重ニ取締ッテ貰ハナケレバナラスコトデアリマスガ、併シ幾ラカ市價ガ好轉シテ來タト云フコトニナリマス、長官ガ御縣念ニナッテ居ルガ如ク、ヤハリ山代金ヲ完納シタル所ノ斫伐ヲスルト云フヤウナ場合ニ於テモ、是ハ唯島外移出ノ統制ヲ圖ルト云フ意思ノ下ニアルノデアルカラシテ、別ニ惡イト云フコトハナイ、唯統制ヲ圖ルト云フ意味ニ於テ、制限ヲシナケレバナラナイト云フ取締ダケデアルカラシテ、即チ利益ガアレバ、アルニ從ッテ色々ナ理由ノ下ニ隠レタル斫伐ガ出來テ、隨テ島外移出ガ多クナリ易イト云フコトヲ大イニ防ガナケレバナラス、此點ヲ見マシタ時ニ、世上傳フル所ニ依レバ、來年ハ一千萬石モ伐採スルヤウニナルノデハナイカト云フ、非當ナ縣念ヲ懷イテ居ルヤウナ狀態ヲ聞イテ居ルノデアリマス、之ニ對シテハ長官ハ曩ニ七百萬石見當ト仰ラレテ居ルカラシテ、唯左様ニ三百萬石モ超過シテ、島外移出ガ致サレルト云フヤウナコトノナイヤウ

ニ、努メテ取締ルト云フ御決心ヲ持ツノ外
ハナイコトダラウト思フノデアリマスガ、
更ニ御尋ネ致シタイコトハ、此「バルブ」
材ノ拂下ト云フモノハ、即チ製紙原料ヲ製
造スル會社ニ對シマシテ、紙ノ原料トシテ
御拂下ゲニナル時ニハ、即チ島外移出建築
材、及製紙材ト云フモノヨリモ、特價ヲ以
テ、殊ニ紙ノ原料トシテ保護致シテ拂下契
約ヲナシテ居ルノガ、其資材ノ中カラ用途
變更ノ許可ヲ取リマスカ、取リマセスカ、
其手續ノ程ハ分リマセスケレドモ、是ガ年
年島外移出ニ百萬石以上モ致サレルト云フ
コトニ對シマシテハ、他ノ色々ナ方法ニ依
リマシテ島外移出ノ販賣統制ヲ圖リ、又市
價ノ販賣統制ヲ、是等取扱ッテ居ル所ノ業
者ハ大キナル違約金ノ設定マデ致シマシ
テ、サウシテ犧牲ヲ拂ッテ市價維持ニ努メ
テ居ル所ニ、紙ノ原料ヲ拂下ゲテ居ル方面
ノ人達ハ、左様ナ所カラ別途ノ機會ニ、製
紙原料ヲ取扱ッテ居ル人方ガ、島外移出ヲ算
盤ガ採レルカラトシテスルト云フコトハ、
拂下ノ精神ノ上カラモ宜シクナイコトデア
ルシ、此自由ノ見地ニ立ッテ居ル所ノ紙原
料ヲ島外移出スルト云フコトハ、今後樺太
廳ガ御許ニナラナケレバ、ナラナクテモ差
支ナイコトダラウト、斯ウ云フ風ニ考ヘマ

ス、之ヲ嚴重ニシテ、サウシテ市價維持
ノ統制ガ圖ラレルト云フコトニナルナラ
バ、樺太廳自ラ唯一ノ財源ト致シテ、年々
森林賣拂代金ヲ以テ樺太ノ維持ニ當ッテ居
ルト云フ、此財源ガ益、肥ッテ來ル、色々ナ
事情ニ依テ島外移出ヲ多クスレバ、隨テ賣
拂代金ガ必ズ安クナッテ來ルト云フコトデ
アルカラ、此島外移出ハ如何ナルコトガアッ
テモ、移出數量ノ七百萬石ナリ、六百萬石
ナリ以上ハ、ドウシテモ出サスト云フ御處
置ヲ御執リニナルト云フコトガ非常ニ一舉
兩得デハナイカト、斯様ニ考ヘテ居ルノデ
アリマスガ、是等ニ對シテ御所見ヲ御伺シ
テ置キタイ

○今村政府委員 御答致シマス、只今御話

中ニ「バルブ」資材トシテ拂下ゲタモノヲ島
外ニ出ス、ソレガ爲ニ島外ノ丸太商ハ非常
ニ影響ヲ受ケルト云フ御話デアリマスガ、
實ハ「バルブ」資材トシテ拂下ゲマス時ハ契
約ニ基キマシテ、多少島内産業保護ト云フ
見地カラ安ク致シテ居リマス、一石六十錢
ト記憶シテ居リマスガ、之ヲ用途變更シテ
島外移出ノ時ニハ、矢張丸太類ト同ジヤウ
ニ三割割増致シマシテ、八十五錢程ニ相成
ルノデアリマス、今回林政ヲ改革致シマシ
テ此點ヲ實ハ變ヘマシタ、大體先刻申上ゲ

マシタ市價カラ換算シテ、島外ノ木材價格
ヲ算定致シマスト平均五十七錢程ニナリマ
ス、ソレヨリ五六分「バルブ」材ハ値ヲ引イ
テ居リマス、デアリマスカラ從來ト違ヒマ
シテ、今後ハ「バルブ」モ丸太材モ餘リ違ハ
ナイノミナラズ、製紙會社ニ拂下ゲマシタ
木材ニ付テハ、今後用途ノ變更ヲ許サスト
云フコトヲ嚴重ニ通告致シテ置キマス、デ
アリマスカラ今後拂下ゲルモノニ付テハナ
カラウト思ヒマス、唯從來ニアリマシタガ、
既ニ價額ヲ拂ッテ買ッテ居ル山ガアリマス、
是ハ矢張從來ノ取扱ニ依テ處置スル外ナカ
ラウト考ヘマスケレドモ、併シ樺太ノ森林
ハ實ハ非常ニ將來淋シノデアリマスカラ、
丸太トシテハ將來控ヘタイト云フ考ヲ持ッ
テ居リマス、唯從來契約シテ居リマス石
數ガ約二千四百萬石アリマスガ、是ハ昭和
十四年頃マデ繼續致シマス、其後ハ事業計
畫ニ變更ノナイ限りハ、サウ云フコトハナ
クナルト思ヒマス、ト云フノハ昨年以來年
期契約ハ一切致シマセスカラデアリマス

○杉本委員 長官カラ能ク御意見ヲ拜聽致

シマシタガ、私ハ最後ニ簡單ナ希望ヲ致シ
テ置キタイノデアリマス、樺太ニ於ケル産
業ハ、紙ノ原料ヲ作ル「バルブ」會社ガ全ク
樺太島ニ於テ非常ナ勢力ヲ爲シテ居ル、時

時更迭ニナリマス所ノ樺太長官ハ、紙會社
ト意思ノ疏通ヲ缺クコトニナレバ、兎ニ角
長官ハ追出シラ喰ッデシマフ、斯様ニ紙會社
ハ富豪財閥ノ力ニ依テ、他ニ澤山類ノナイ
所ノ生産ヲヤッテ居ルト云フ立場ニ置カレ
テ居ル、ソコデ只今長官ノ御意見ニハ、特
價ヲ以テ拂下ゲタモノニ對シテ、用途ヲ變
更改ス場合ニ、島外移出ヲ致スト云フ場合
ニハ、三割ノ増徴ヲ致シテ許可スル、斯
様ナ取扱規定ガ——幸ニ長官ノ御言葉ニ依
レバ、是カラ止メル、斯様ニ仰シヤッテ居ル
カラシテ、ソコデ私共ハ些カ安堵ヲ致シマ
シタガ、若シ從來通り斯様ナ取扱ヲ許サレ
テ居ッタトスレバ、彼ノ紙會社ノ如キハ、島
外ノ移出ヲ三割ノ増徴ヲ致シテスルト云フ
コトヲ行ッテモ、ソレデ算盤ガ採レル時ニハ
移出スル、算盤ガ採レナイ時ニハ移出シナ
イ、一面ニハ移出ノ統制ヲ圖リ、市價ノ統
制ヲ圖ッテ茲迄持ッテ來タモノハ、今度ハ自
由ノ立場ニ於テ三割支拂ッテモ、尙且ツ利益
ガアルカラシテ勝手ニ之ヲ移出スルノダト
云フ、自由ノ遣方ヲスルト云フコトハ、洵
ニ怪シカラスコトデアル、木ニ縁ッテ魚ヲ求
ムルニ等シヤウナ狀態デアル、斯様ナ取
扱方ハ今度許サナイト云フコトヲ御言明ニ
ナッタコトハ、私ハ洵ニ樺太廳ノ爲ニ、又此

林業行政ノ上ニ於テ適切ナ處置デアラウ、

斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、私ノ希望

ト致シマシテハ紙會社ニ對シテ、斯様ナコ

トヲ廢シテ、島外移出ハ絶對ニサセナイト

云フコトヲ、御言葉ノ如ク嚴守シテ戴キタ

イ、又何等カノ事由ニ依テ容易ニ市價ヲ維

持シ、多少好轉ヲシテ來タト云フ場合ニ、

合法的ニ島外移出ヲ講ジテ來ルト云フコト

ガ出來易イ、斯様ナコトニ對シテモ、嚴重

ニ取締ツテ、サウシテ七百萬石ヲ越エザル方

針ニ付テ、今後御處置ヲ執ツテ戴キタイト云

フコトヲ希望致シテ置ク次第デアリマス

○今村政府委員 一言ダケ申シテ置キマス

ガ、今後用途ノ變更ヲ絶對ニ許サスト云フ

コトハ、先刻申上ゲタノデアリマスガ、從

來既ニ金ヲ拂ツテ島外移出ト云フコトデ有ッ

テ居ル山ガアリマス、斯ウ云フモノニ付キ

マシテハ、出來ルダケ出材數量ヲ制限シテ

居リマスケレドモ、此點ダケハ除外例ニナッ

テ居リマス、一寸念ノ爲ニ申上ゲテ置キマ

ス

○金光委員長 是ヨリ關稅定率法中改正法

律案ノ討論ニ入り採決ニ移リマス、通告順

ニ依テ討論ヲ許シマス、壽原君

○壽原委員 私ハ此關稅法中改正法律案ニ

同ノ改正案ハ第六十二議會ニ附帶決議ニナ

リマシテ、政府ニ於テモソレノ調査研究

ノ結果、此度上程サレタヤウナ次第デアリ

マシテ、政府委員ノ御説明ニ依レバ、全ク

是ハ國內産業ノ振興保護ヲ目的トシテ、此

改正ヲ行ハレントスルモノデアリマシテ、

洵ニ結構ニ存ズルノデアリマス、併シ茲ニ

立テラレタル所ノ費目ガ餘リニ數少ク、貧

弱ナ思ヒヲナシテ居ルノデアリマス、尙ホ

又或モノニ付テ保護關稅ヲ課スルニ付キマ

シテモ、其率ノ低イコト、其他遺憾ニ堪ヘ

ナイ點ハ多クアリマスルガ、是ハ尙ホ引續

キ當局ノ將來ノ御研究ニ俟ツテ、速ニ此當ヲ

得ナイ關稅ヲ、ソレノ改正シテ貰ヒタイ

ト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此關

稅ノ改正法ニ付キマシテハ、數日委員諸君

ノ熱心ナル質疑應答ニ依リマシテ、木材ニ

對スル點、或ハ朝鮮ノ林業政策、或ハ北海

道ノ林業行政等ニ付キマシテ、詳シイコト

ヲ諒承致シタコトハ、洵ニ満足ニ感ズル次

第デアリマス、ソレデ此法案ニ於キマシテ、

國內ニ生産セラレザル所ノ麻黃、生酒石、

骨灰、是等ニ付キマシテ、國內ノ或ハ藥用、

染料、或ハ其他化學工業用等トシテノ安イ

原料ヲ供給スルコトニ留意サレタコト、

或ハ藟藟等ハ是等ハ農家ヲ救済スベキ手段ト

シテ、關稅ヲ賦課セラレタコトニ付キマシ

テハ、此委員會ハ全體御賛成ノヤウデアリ

マシタガ、獨リ木材ニ付キマシテハ色々質

疑應答ガ行ハレマシテ、殊ニ此案ニ付イテ

ハ、ドウモ朝鮮ノ方ニ國內ノ需要ノ十分ノ

一モ滿タスコトガ出來ヌヤウナモノニ課稅

ヲシテ、消費者ヲ苦シメルコトハ、ドウカ

ト云フヤウナ御議論モアリ、又或ハ此南洋

材ニ付キマシテ、相場ノ下落、或ハ又比律

賓其他ニ於テノ、我國ノ企業家方面ノ保護

等ニ付テモ、色々御議論ガアリマシタ、併

シ私ハ洵ニサウ云フ相場ノコト、或ハ用途

ノ點ニ付キマシテ、詳シク研究スル時ニ、

今日ノ狀態ニ於テハ、尙且ツ此改正ガ不適

當デアルト云フ點モ考ヘラレルノデアリマ

スケレドモ、併シ是ハ過去及將來ヲ考ヘル

時ニ於キマシテ、是非共此保護關稅ヲ課セ

ナケレバナラス、今回出シマシタ南洋材

其他ニ對スル所ノ稅率ガ餘リニ低イノデ、

他ノ委員ノ方カラモ御話ガアリマシタガ、

是デ果シテ保護ノ目的ガ達シ得ラレルカ否

ヤト云フコトモ、本員トシテハ非常ニ疑問

ニ存ズル次第デアリマスガ、殊ニ南洋材ニ

付キマシテハ、吾々ハ北海道ノ者ト致シマ

シテ、北海道ガ明治拓殖時代カラ、斯ウ云

炭薪ニシテ濫伐サレテ來マシタ、今日ニ至

リマシテ此南洋材ノ「ラワン」材ハ、此拓

殖開墾ノ爲ニ濫伐サレタモノガ今日我が市

場ヲ犯シテ、サウシテ北海道ニ於ケル所ノ

木材ニ對シテ非常ナ打撃ヲ與ヘタト云フコ

トハ、洵ニ残念ニ堪ヘヌ次第デアリマス、而

シテ北海道ニ於ケル所ノ此「ラワン」材ニ

對抗スルモノハ、先ヅ今日四百萬石アルノ

デアリマス、而シテ此南洋カラ這入ッテ來ル

モノハ僅ニ其十分ノ一ノ四十萬石ニシカ過

ギナイノデアリマス、此四十萬石ノ爲ニ、

殊ニ近年經濟界ノ不況ノ折柄、四百萬石ノ

木材ガ大打撃ヲ受ケ、大損害ヲ被ッテ居ルヤ

ウナ次第デアリマス、デ大體是マデ同ジ闊

葉樹ノ中デ、或ハ樺材ノ如キハ、茲十數年

前カラ歐洲ノ方ヘ輸出サレマシタ爲ニ、相

當ノ價值ヲ持ツテ居ッタノデアリマスケレド

モ、近年ニ至リ南洋「ラワン」材ガ、殆ド

開墾ノ結果無價値ノ木ガドソノ日本ノ市

場ニ侵入シテ來タ爲ニ、北海道ノ闊葉樹ノ

相場ガ非常ニ低下シタ次第デアリマス、此

間カラマダ北海道ノ闊葉樹ハ非常ニ安イデ

ハナイカ、別ニ安イノニ輸入材ニ無理ニ課

稅スル必要モナカラウト云フ御話ガアリマ

シタケレドモ、是ハ唯一時押サレタ現象デ

アリマシテ、木其モノ、價值カラ申シマス

ルト云フト、非常ナ低位ニ今日相場ガ立ッテ居ル次第デアリマシテ、尙ホ又今日ノ爲替相場ノ影響ト云フモノハ非常ニ大キイノデアリマシテ、翻ッテ爲替相場ニ付テハ、人ノ見ル所ニ依テ色々アリマスケレドモ、今日ノ情勢カラ致シマスト、ドウシテモ上ルヤウナ傾向デアリマスガ故ニ、此爲替相場ガモウ少シ上ッテ参リマシタナラバ、北海道ト南洋材ノ競争ガ如何ニ困難ニ陥ルカト云フコトハ、想像ニ餘リアル次第デアリマシテ、自分等ト致シマシテハ、モウ一層高イ保護關稅ヲ賦課サレンコトヲ、大ニ熱望シテ居ルヤウナ次第デアリマス、或ハ是等ノ木材ニ關稅ヲ賦課スルト云フコトハ、消費者ヲ脅スヤウナ點モアリマスケレドモ、此點ニ付キマシテハ、今日我國全體ノ經濟政策ガ、總テ自給自足主義デアリ、國產獎勵ノ時代デモアルガ故ニ、此點ニ付テハ全國民ハ出來ルダケ國產品ヲ以テ、輸入材ニ代用シテ行クヤウニ御辛抱ヲ願ヒタイノデス、又或ハ比律賓ナドノ企業家ヲ脅スコトノ憂モアリマスケレドモ、是ハ此間政府委員カラノ御説明ニ依リマシテ、日本以外ノ土地ヘモドン／＼輸出シテ居ルヤウナコトデアリマスカラ、ドウカ此企業家ノ方々モ、是非日本ヘハ輸入セズニ、諸外國ヘドン／＼

輸出スルコトニシテ戴クヤウニナッタナラバ、其企業ノ上ニ於テモ何等不安ナコトハナイト考ヘラレルノデアリマス、ソレデ此意味ヲ以テ私ハ本案ニ賛成スルノデアリマス、尙ホ朝鮮ノ方ニ於キマシテハ、此度ハ森業鐵道其他ノ施設ヲサレテ、是カラドン／＼長材ヲ御伐出シニナルト云フコトハ、洵ニ結構デアリマスガ、ドウカ是等ノ保護ニ依テ價格ヲ高メルト共ニ、又此朝鮮ノ將來ノ森業ニ對シテハ、吾々ガ北海道ニ於テ苦キ經驗ヲ致シタヤウナ濫伐ニ陥ッテ、肝心ナ富源ヲ失フト云フヤウナコトハナクシテ、百年ノ大計ヲ樹テ、之ニ依テ伐出ス方法ヲ確立サレンコトヲ特ニ希望スル次第デアリマス、ドウゾ他ノ委員諸君、皆サンモ其趣旨ニ一ツ御賛成下サレンコトヲ希望致シマス

○永田委員 私ハ民政黨ノ同僚ノ了解ヲ得マシテ、代表シテ本案ニ賛成ノ意ヲ表示スル者デアリマス、今回ノ此關稅定率法ノ改正ハ、只今政友會ノ代表者カラ御話ノアッタ如ク、餘リニ吾々ノ期待ニ背キマシテ貧弱過ギルノデアアル、六十二議會以來ノ成行カラ申シマシテモ、モウ少シ徹底シタ案ガ、茲ニ提出サレルコトヲ、實ハ期待ヲ致シテ居ッタノデアリマス、即チ當時六十二議會ノ委員會ハ洵ニ小サイ委員會デアリマシタガ、三割五分一律一體引上ト云フ問題ニ付キマシテハ、激論ガ戰ハサレタノデアリマス、餘リニ無鐵砲デヤナイカト云フコトデ、隨分議論ガアッタノデアリマス、當時政府ニ於キマシテモ、此際見當ガ付カヌカラ先ヅ辛棒シテ貰ヒタイ、成ベク自分ノ方デモ熱心ニ勉強シテ、サウシテ諸君ノ希望ニ副フヤウニシヨウト云フヤウナ御意嚮モアリマシタ、遂ニ是ガ附帶條件トナッテ本院ヲ通過シ、又貴族院ニ於テモ同ジヤウニ、衆議院ノ意嚮ニ引摺ラレテ居ッタヤウナ當時ノ情勢デアリマス、隨テ其後ノ經濟界ノ情勢ガ茲ニ變轉シテ居リマスコトハ、吾々不敏ト雖モマタ承知ヲ致シテ居リマス、併ナガラ變轉アリト雖モ、ソコニ尙ホ攻究スベキ點ハ多クテハナラナイ、茲ニ一々指摘スル譯デハアリマセヌガ、先般來ノ政府ノ御説明ヲ齟齬シテ見マシテモ、例ヘバ今日ノ改正ノ一ツニ舉ゲラレテ居ル薔玉ノ如キモ、是等ハ爲替ノ影響ヲ受ケナイ、斯ウ云フコトヲ政府ハ御答辯ナスッテ居ル、サウ云フコトガ明デアル以上ハ、他ニモ澤山サウ云フ點ノ明ナモノガナクテハナラナイト私共ハ思ウテ居ル、然ルニ本案提案ノ理由ニ於テモ、三割五分一律一體引上ニ手ガ著

ケラレナカッタト云フ説明モナク、又委員會デモ政府委員カラ進ンデ是等ノ點ニ對シテノ釋明ヲ聽ク機會ヲ得ナカッタノハ、吾々甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマシテ、此點ニ付テ此議會ニ於テ論議ガ少ナカッタト云フコトハ、決シテ三割五分一律一體ノ引上ヲ承認致シタノデハナイノデアリマス、財政ノ見据ガ付キ、或ハ手數ト雖モ茲ニ施スベキモノガアルナラバ、速ニ之ヲ調査致シマシテ、サウシテ此不合理ナル一律一體引上ノ關稅ノ改正ニ著手サレンコトヲ、私共ハ切ニ希望スル次第デアリマシテ、此委員會ニ於テ、是等ノ點ガ餘リ論ゼラレナカッタ爲ニ、若シ政府ガ是ハ水ニ流シタモノデアルト思ハレテ居リマス、甚ダ考慮ヒデアリマスカラ、本案ニ賛成ノ意思ヲ表示スルニ方リマシテ、此點ヲ政府ニ御忠告申シテ置キタイト思ヒマス、尙ホ嘗テ設ケマシタ贅澤品ノ十割關稅、是ハ七八年前デアリマシタガ、其後改正モサレテ居リマスガ、是等モ今日爲替ノ大ニ下落シタ際、サウシテ内地ニ於ケル贅澤ナ國民的氣風ト云フモノモ一掃サレテ居ル次第デアリマスカラ、相當ニ是等ハ考究スル餘地ガアラウト思フガ、是等モ今度御提案ヲ見ナイ、是等ハ速ニ案ノ立ツベキモノガ其中ニハ少クナイト、私共

ハ確信ヲ致シテ居リマス、故ニ一般關稅ノ改正三割五分一律一體ヲ改メレバ、當然ソレニモ手が著ク譯デハアリマスガ、從來ノ成行上、又特例ヲ設ケラレテ居ル關稅デアリマスカラ、特ニ是モ別ノ項目トシテ御註文ヲ申上ゲル次第デアリマス

尙ホモウ一ツハ、個々ノ産業ヲ多ク關稅ニ依テ論ジラレテ居リマスコトハ、一ツノ組織體ノ企業ヲ目的トシテ居ル場合ガ少クナイ、サウ云フモノヲ、今日假ニ之ヲ言ッテ見マスレバ、染料ノ關稅ヲドウスル、或ハ人絹ノ關稅ヲドウスル、斯ウ云フ工場經營ニ依ル産業ニ對シマシテ、所謂産業政策ノ立場カラ、或ハ國策ノ立場カラ論ゼラレテ、之ニハ統一シタ所ノ關稅ノ改正ガ從來行ハレテ居ル、所ガ一ツノ經濟部門ト申シマスカ、農業政策ナラ農業政策、其中デモ何々ハドウ、斯ウ云フ問題ニナリマス、先般私ハ農林省ノ諸君ニモ御注文申シタ譯デアルガ、ドウモ統一連絡ガナイ、是ハモウ少し統一ノアルヤウニ、御勉強ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、近年此農村ノ問題ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、農林省ノ幹部ノ諸君ノ日夜忙シイコトハ、私モ承知ヲ致シテ居リマス、一昨日御注文申シタ後デモ、晚ニ家ニ歸ッテ休ミナガラ能ク考ヘマシ

タ、今日ハア、言ッテ注文ヲシタガ、併シドウカト思ウテ、自分デモ熱心ニ反省シテ見タヤウナ譯デアリマス、反省シテ見マシタ結果ハ、結局近年農林省ガ非常ニ御忙シイ、御忙シイガ爲ニ「オリデナリテイ」ヲ發揮スル機會ガナイ、後カラ後カラト追ッ駈ケラレタモノダケヲ處理シテ居ル、斯ウ云フヤウニ御同情ヲシテ見テ居ルノデゴザイマスカ、ソレニ致シマシテモ、尙ホモウ少し私ハ關稅政策ニ付テハ、特ニ農林省ハ統一アル行動ヲ執ッテ戴キタイト思フ、長年吾々モ委員會デ扱ッテ居リマスガ、以前ハ商工省ノ案ニ極メテ拙イモノガ多カッタガ、近頃ハドウモ此二三議會ヲ通ジテハ、農林省及拓務省ノ案ト云フモノニ、非常ニ缺陷ガ多イヤウニ私ハ直感ヲ致シテ居ル、甚ダ御聽苦シイデセウガ、是ハ政府全體ノ責任デハナイ、其立場々々ニ於ケル係リノ諸君ニ、モウ少し研究ト調査ヲ熱心ニ私ハ御願ヒシタイト思フノデアリマシテ、是等ノ點ヲ御懇意ナリ

マスカラ、尙ホ一層將來ノ御勉強ヲ期待致シマシテ、無條件デ賛成ノ意ヲ表スル次第デアリマス

○中川委員 此關稅定率ノ改正ニ付キマシテハ、數回ニ互ッテ委員諸君ノ熱心ナル質問ガアリ、サウシテ又政府當局ノソレノ御答辯ニ依リマシテ、大體諒承致シテ居ルノデアリマス、本案ニ對シテハ政友會、民政黨ノ代表ノ御意見ガアリマシタ同様デアリマス、吾々モ甚ダ不徹底、不満足デアルト存ジマスルガ、今日ノ場合之ニ同意ヲ表シタイト思フノデアリマス、吾々ハ統制經濟ノ立場カラ申シマスルナラバ、昨年ノ六十二議會デ、アレダケ喧シカッタ問題デアリマスカラ、政府當局トシテハ、モウ少し力ヲ入レテ、相當改正ヲ加ヘラルベキモノデアルト期待致シテ居ッタ次第デアリマス、併シ甚ダ遺憾ニ存ジマスルガ、之ニ賛成ノ意ヲ表スル次第デアリマス、ドウカ只今御兩君カラソレノ御希望ヲ御述ベニナリマシタ如ク、産業保護ノ立場カラ、所謂保護關稅ニ依テ、輸入品ニ對シテ高率ニ課稅スルト云フコトノ必要デアルト同時ニ、一方消費者側ノ立場カラモ能ク考慮セラレマシテ、大局ヲ誤ラナイヤウニ、來ルベキ機會ニ於テ適當ニ是正セラレル意味ニ於キマシテ、改正ヲ行ハレルヤウニ希望ヲ申上ゲマス、國民同盟ヲ代表致シテ賛成ノ意ヲ申述ベマス

○大山委員 我黨ヲ代表シテ、今上程ニナッテ居リマス法案其モノニ對シマスル意嚮ハ、壽原君カラ今御述ベニナッタノデアリマス、尙ホ之ニ對シテ私共ガ總括的ニ黨ノ同志ヲ代表致シマシテ、希望ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ通り世界各國共、今關稅政策ニ行詰ッタヤウナ形ニナッテ居リマス、現ニ米國ノ大統領ガ新任セラレマシテ、ソレニ對シテ期待シテ居リマスモノハ何デアアルカト言ヘバ、戰債ノ問題デアリマス、或ハ國際的關稅改訂問題、乃至貨幣問題、此三ツノモノヲ新大統領ノ力ニ依テ、國際會議ニ依テ解決致シタイト云フ風ニ言ハレテ居ルノデアリマス、近クハ關稅休日問題モ、一昨年アタリハ隨分激シカッタノデアリマス、今度來ルベキ時ニハ必ズ此問題ガ來ルデアラウ、然ルニ我國ノ關稅ハ一般的ニ考ヘテ見マシテ、諸外國ノソレニ比シテ、非常ニ率ガ低イ所ニアルト云フコトモ、是ハ爭フベカラザルコトデアアル、若シソレヲ基礎ニ置イテ、國際的ニ之ヲ協定セラレルト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、非常ナ不利益ニナルコトデアアルノデ

タ、今日ハア、言ッテ注文ヲシタガ、併シドウカト思ウテ、自分デモ熱心ニ反省シテ見タヤウナ譯デアリマス、反省シテ見マシタ結果ハ、結局近年農林省ガ非常ニ御忙シイ、御忙シイガ爲ニ「オリデナリテイ」ヲ發揮スル機會ガナイ、後カラ後カラト追ッ駈ケラレタモノダケヲ處理シテ居ル、斯ウ云フヤウニ御同情ヲシテ見テ居ルノデゴザイマスカ、ソレニ致シマシテモ、尙ホモウ少し私ハ關稅政策ニ付テハ、特ニ農林省ハ統一アル行動ヲ執ッテ戴キタイト思フ、長年吾々モ委員會デ扱ッテ居リマスガ、以前ハ商工省ノ案ニ極メテ拙イモノガ多カッタガ、近頃ハドウモ此二三議會ヲ通ジテハ、農林省及拓務省ノ案ト云フモノニ、非常ニ缺陷ガ多イヤウニ私ハ直感ヲ致シテ居ル、甚ダ御聽苦シイデセウガ、是ハ政府全體ノ責任デハナイ、其立場々々ニ於ケル係リノ諸君ニ、モウ少し研究ト調査ヲ熱心ニ私ハ御願ヒシタイト思フノデアリマシテ、是等ノ點ヲ御懇意ナリ

マスカラ、尙ホ一層將來ノ御勉強ヲ期待致シマシテ、無條件デ賛成ノ意ヲ表スル次第デアリマス

○大山委員 我黨ヲ代表シテ、今上程ニナッテ居リマス法案其モノニ對シマスル意嚮ハ、壽原君カラ今御述ベニナッタノデアリマス、尙ホ之ニ對シテ私共ガ總括的ニ黨ノ同志ヲ代表致シマシテ、希望ヲ附加ヘテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ通り世界各國共、今關稅政策ニ行詰ッタヤウナ形ニナッテ居リマス、現ニ米國ノ大統領ガ新任セラレマシテ、ソレニ對シテ期待シテ居リマスモノハ何デアアルカト言ヘバ、戰債ノ問題デアリマス、或ハ國際的關稅改訂問題、乃至貨幣問題、此三ツノモノヲ新大統領ノ力ニ依テ、國際會議ニ依テ解決致シタイト云フ風ニ言ハレテ居ルノデアリマス、近クハ關稅休日問題モ、一昨年アタリハ隨分激シカッタノデアリマス、今度來ルベキ時ニハ必ズ此問題ガ來ルデアラウ、然ルニ我國ノ關稅ハ一般的ニ考ヘテ見マシテ、諸外國ノソレニ比シテ、非常ニ率ガ低イ所ニアルト云フコトモ、是ハ爭フベカラザルコトデアアル、若シソレヲ基礎ニ置イテ、國際的ニ之ヲ協定セラレルト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、非常ナ不利益ニナルコトデアアルノデ

アリマス、是等ノ點ニ付テハ、當局者ハ既ニ十分御留意ニナツテ居ルコト、ハ信ジマスケレドモ、昨年ノ臨時議會ニ一般的ニ從量稅ノ課稅ヲ附セラレタ時ニ、全體ニ向ッテノ關稅改正ノ御用意ガナカッタ云フコトデアル、爾來今日マデ、又今回出來マシタモノモ、洵ニ微々タル二三ノ品目ノ改訂ニ止マツテ居ルト云フ狀態デアリマス、果シテ平常ニ於テ是等ニ對スル所ノ御用意ガアルカナイカト云フコトヲ多少疑ハザルヲ得ヌノデアル、殊ニ先般來ノ質問應答ノ場合ニ現レテ居リマスル如ク、私ガ考ヘテ見マシテモ木材關稅ヲ御考慮ニナツテ居ル際ニ、人絹ノ關係ニ付テハ御考慮ニナツテ居ラス、御調査中デアルト云フコトデアル、木材關稅ヲ論ズルノニ、人絹ノ關稅ヲ御考ヘニナラヌト云フコトハナイ筈デアリマス、是ハ對立シテ御出シニナルベキガ至當デアルト思フ、斯様ナコトデアッテ、今回現レテ居リマスル所ノ改正案ナルモノハ、前ニ各派カラ御話ニナツテ居リマスル如ク、不完全極マルモノデアルト考ヘルノデアリマス、率直ニ申上ゲルナラバ申譯的ニ御出シニナツタモノトカ、或ハ又慌テ、御出シニナツタモノト云フヤウナ觀ヲ免レナイ、ソコデ私ハ次ノ二箇條ヲ希望トシテ申上ゲテ置キタイ、

即チ今國際關係ガ非常ニ「デリケート」ニナツテ居リマシテ、我國ニ對シテ經濟封鎖等ノ問題ノ起ッテ居リマスル場合デアリマスカラ、此機會ニ於キマシテ、政府ハ引續イテ今御進メニナツテ居ルト云フ、一般的ノ關稅改正ノ點ニ付テ、十分ナル御調査ヲ進メラレマシテ、速ニ關稅政策ノ根本ヲ樹立セラレテ、サウシテ現ニ爲替管理法其他ニ依テ、爲替政策ヲ定メラレントシテ居ル場合デアリマスカラ、此爲替政策ニ對應シテ、新シキ一ツノ基本的關稅率ト云フモノヲ御改訂ニナルベク、少クトモ次ノ機會マデニハ、ソレ等ニ對スル十分ナル御用意ヲ御進メニナルヤウニ御願シタイ、是ガ一點、第二點ト致シマシテハ日滿ノ關係デアリマス、此關係ハ折角滿洲國ノ獨立ヲ承認致シマシテモ、今ノ狀態デアリマシテハ吾々ハ經濟的ニ十分ナル其效果ヲ、國民的ニ表示スルコトガ出來ナイヤウナ狀態デアル、是等モ日滿經濟統制策ニ對應スベク、速ニ日滿ノ關稅政策ト云フモノヲ樹立セラレマシテ、一日モ早く日滿間ノ關稅條約締結ノ交渉ヲ御進メ下サルヤウニ御願致シマス、此二點ヲ私ハ希望致シマシテ、本案ニ贊成スルモノデアリマス

○金光委員長 討論ノ御意見ハ總テ原案ニ

贊成デゴザイマシタガ、念ノ爲ニ採決致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ノ舉手ヲ願ヒマス
〔贊成者舉手〕

○金光委員長 舉手總員、全會一致可決確定致シマシタ——次ニ昭和七年法律第四號中改正法律案ヲ議題ト致シマシテ、討論ニ入り、次ニ採決ヲ致シマスガ、是ハ關稅定率法中改正法律案ニ關聯シタ法案デアリマシテ、其内容カラ申セバ、寧ロ之ニ附隨的ノ法案ノヤウニ存ジマスカラ、之ニ對スル討論ハ前ノ法案ニ對スル討論デ大體盡シテ居ルト思ヒマスカラ、極メテ簡單ニ御願致シタイト存ジマス、壽原君

○壽原委員 本案ハ只今ノ委員長ノ御話ノ如ク、前案ニ附隨シテ出來タ、要スルニ表中ノ改正デアリマシテ、當然行ハルベキコト、考ヘマスノデ、之ニ付テハ贊成致シマス

○金光委員長 永田君
○永田委員 贊成
○金光委員長 中川君
○中川委員 贊成

○金光委員長 別ニ御意見モゴザイマセヌヤウデアリマスカラ、是デ採決致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ舉手ヲ願ヒマス
〔贊成者舉手〕

○金光委員長 舉手總員、全會一致可決確定致シマシタ、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後二時四十分散會

昭和八年三月十五日印刷

昭和八年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所